

石下喜子 石下恭子
有賀 清 関 元行
匿名

齋藤電工(齋藤吉勝)
小林医院(小林徳男)

吉田孝雄
匿名

新しく会員になられた方

正 会 員

加藤とよ子 仁藤重彦 仁藤美子

ありがとうございました



こころん 美子



こころんの活動資金を募集しています。
皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

お 知 ら せ

活 動 報 告

- 10月26日 医療相談
- 10月26日 アート展実行委員会
- 11月18日 こころんアート展
~19日 "
- 11月22日 家族教室
(広田和子氏)
- 11月25日 清掃ボランティア
活動(公民館主催)
- 11月28日 レク(温泉へGO!)
- 11月29日 ひきこもり教室
- 11月30日 環境整備活動
- 12月13日 家族教室
(家族の体験と交流)
- 12月19日 クリスマス交流会
- 12月20日 ひきこもり教室
- 12月21日 年忘れ会

- 1月10日 書初め
- 1月23日 アイスキャンドル2007
(アウシュビッツ平和博物館)
- 1月30日 ミステリージャーニー
(五峰の湯・ながわ水遊園)
- 2月13日 そば打ち大会
- 2月23日 第5回東北・北海道ブ
ロック精神障害者就業
支援セミナー(福島市)
~24日 "
- 2月27日 就労サポートセンター
講演会

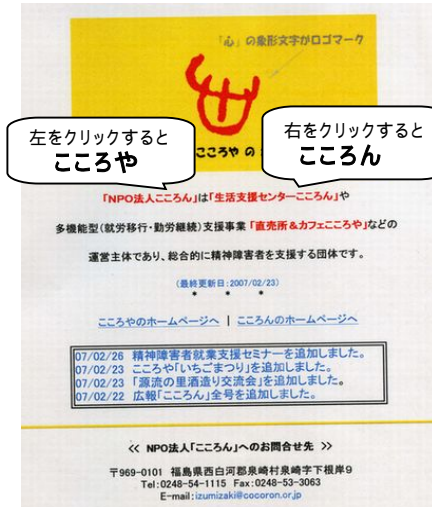


◆今後の予定◆

- 3月 3日 こころやイチごまつり
~4日 "
- 3月17日 ハートピアきつれ川研修旅行
(第1回どん底大会へ参加)
- 3月23日 清掃ボランティア活動
- 3月27日 就労研修会
- 4月27日 ふくしま障がい者バレーポ
ール大会
- 5月19日 NPO法人こころん定期総会
講演会
- 8月 4日 こころんコンサート
- 9月 9日 こころんまつり
- 11月17日 こころんアート展
~18日 "



こころんのホームページが新しくなりました。
<http://www.cocoron.or.jp/>



第1回どん底大会

ハートピアきつれ川

みんなで参加しよう!!

栃木県さくら市にあるハートピアきつれ川に、「なごみの家」「ウッドピアはなわ」「こころん」の皆で施設見学に行くよ。そのとき、きつれ川で「第1回どん底大会」というをやっているの飛び入り参加できるよ。

皆も是非参加しようよ。
施設見学・食事・温泉入浴だけでもOK、
日程、費用は次のとおりだよ。

日時 3月17日(土) AM9:00
こころん集合
費用 1,500円 利用者1,000円
(昼食・入浴代含む)

詳細・申込は こころん
☎ 0248-54-1115 まで

編 集 後 記

最近、生きていること、人や地域の方たちのつながりを深く考えさせられる体験をしました。その中で、やはり自分には多くの方に見守られ、支えられているんだということを確認しています。人は、個人で生きている訳ではなく、周囲の方々の様々な支え・励ましを受けながら生活しているということです。(O/S)

今年の冬は暖冬で、このまま雪を見ずに春分の日を迎えてしまいそうです。障害者自立支援法の施行から6ヶ月目となります。現実的に利用者の皆さんの生活の幅が広がり、質が向上しつつあるのでしょうか？法体制が開始したばかりでまだまだよく分かりませんが、福祉サービス体制が行政の説明とあり、「障害者が地域で安心して自立した生活できるためのもの」であることを切に願わずにはおられません。

(三 村)

いつも「広報はまだか？」と皆に叱咤されていますが、何とか今回も皆さんの協力で発行にこぎつけました。ご協力あ

こころん

第13号

発行者：NPO法人こころん

〒969-0101
福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9
生活支援センター こころん

TEL : 0248-54-1115

FAX : 0248-53-3063

E-mail : kokoron@r2.dion.ne.jp

ホームページ : <http://www.cocoron.or.jp>

ごあいさつ

旧暦では、年が明けないうちに立春を迎えるという年まわりになりました。

いつにない気候の移り変わりの中、皆様には、御清適の事と存じあげます。

昨年10月、念願の直売所「こころや」を立ちあげることが出来、新たな一里塚となりました。「こころん」利用者の方々が、ここで就労の場を得ることが叶いました。この様な動きが、更に周囲の理解につながり、雇用の拡大につながることを願わずには、いられません。おかげさまで、「こころや」の方も時が経つにつれ、知名度を増し、多くの方々が御利用下さっています。社会的関心の高い、食の安全、食育についても眼中に据え、地域あげて進んで行きたいと存じます。この春、地域おこしの一環、里山再生プロジェクトの会の方々が、丹誠こめて作りあげた、お米から、大木代吉本店の御尽力により、料理酒が誕生します。何卒、御利用の程、願いあげます。



NPO法人こころんの活動につき、平素より御理解、お力ぞえ賜り、御礼、感謝申しあげます。向後も、御支援、御協力、おねがい申しあげます。

理事長 関元行

- P1・ごあいさつ
- P3・家族 こころやカフェ なごみの家
- P5・アート展 源流の里交流会 こころんサポーターズより

- P2・こころやをよろしく(こころんに勤めてみんな元気がんぼって)
- P4・皆の広場(イベント・研修等参加感想)
- P6・お知らせ

こころや をよろしく

梅の花も咲き、朝夕の寒さも少しずつ和らぎ、春の気配が感じられる季節がやってきました。こころやオープン以来2月26日までに延べ9,354人の方にご利用頂き、10,000人までもう少しとなりました。

現在、登録されている生産者は約70名です。生産者の方達は、出来るだけ新鮮な物をおいしく食べて頂きたいと日々努力しています。これからもより多くの種類のおいしくて、安全な野菜を適正価格で提供してまいります。ご期待下さい。

こころやに関わり就労訓練にあたっては、体験訓練中の方も含め20名弱です。やること成す事の全てがフレッシュな現場では様々な声が聞かれます。例えば「自分が、こんなに長い時間訓練に従事できるとは思わなかった。（仲間の支えが大きかった）」「今までの人生の中で最高の一年だった（充実した生活を取り戻せた）」「この一年を振り返ると（こころや）オープン前とオープン後で二年分生きているような気がした。（充実していた）」「ここは、お互いを思いやり合いながら働ける職場だ。（仲間がいるから働きやすい）」などです。逆に、「これだけできるようなになったのだから、自分はずっと出来るに違いない。（頑張りすぎてしまった）」と、体調が悪くなってしまった人もいます。

こころやの目指すところは、『農業を中心とした地域の特産物を販売する直売所を中心に、高齢者・障害者・子供たちの自立と社会参加を支援する交流事業を通して地域活性化と、誰もが安心して暮らせる社会のネットワークを拡大する。』ことです。とてもレベルの高い目標で現実の道のりの険しさにいつもくじけます。でもいつも誰かに助けられます。その時々助け舟を出して下さった全ての方にこころからお礼申し上げます。「ありがとうございます。」

スタッフ一同鋭意努力しているつもりではありますが、まだまだ目の行き届かない点、不案内な点など多々あるかと思ひます。これからも様々な形で支えて頂ければ幸いです。

(こころや責任者 田崎昭彦)

「少しずつ無理しないで頑張っています」

去年の十月オープン時からお陰様で今に到るまでこころやに勤められて本当に有難く、また嬉しく思っています。

始めの内は何をどうしたらいいのかも判らないでいたのに、田崎さんや丸山さん、富永さんを始めとするスタッフの指導のもとに徐々にではありますが、仕事ができるようになりました。レジでの会計等は直接お客様と向き合う場であり、現金を扱う仕事ですので失敗したらどうしようという不安がありました。喫茶の仕事はランチを運んだり食べ終わった食器を下げたり洗物をしたりが主でしたが、最近では厨房の中の仕事を丸山さんや富永さんに教わりながら出来るのも喜びを感じる一つになっています。

これからも少しずつ色々な仕事を身につけて頑張りたいと思いますのでスタッフの皆さん宜しく御指導お願いします。

(今ちゃん)



今日も一日無理しないで頑張るぞ!!

「厳しい応益負担」(中間報告)

就労訓練が「こころや」が出来て大分変わったと感じています。勤めているのはほとんどが「こころん」の利用者ですが、そこにはある程度の緊張感があります。これから、就労する幅が直売所だけでなく、近くの農園にも広がっていくようで楽しみです。また、「こころや」を陰から応援してくれる人がたくさんいるので、頑張りがいがあります。

自分も一般就労を目指しているわけですが、あまり焦らず(僕の欠点のひとつですが)「こころや」で力を蓄えたいと思います。就労移行支援で「こころや」で働くと1日736円の利用料金(福祉サービス受給者1割負担)がかかります。時給300円ですので、約2時間半はタダ働きです。利用者達はただでさえ、ギリギリの生活を強いられ、そこに高い利用料です。

就労移行支援、就労継続支援にかかわらず、現在の福祉行政はどうなっているのか? 「できる限り安い利用料にならないか」と考える毎日です。

(佐藤栄一)



こころんアート展

今回私は、初めてアート展にお手伝いとして参加しました。どの作品を見てもとても素晴らしく、風をイメージしたオブジェ、木で作った文鎮、織物で作った服、そして絵などを見て作者の人は凄いなと思いました。また、メンバーさんの書いた絵も色々な個性がありとてもよかったです。今度は自分でも何かに挑戦してみたく成りました。



源流の里酒造り交流会

2月16日午後6時から、ホテルサンルート白河で「源流の里酒造り交流会」が行われました。里山再生プロジェクト実行委員会が主催で、約240人が集まり大盛況でした。



「料理酒」近日中にこころんで販売する予定です。



出品されたお酒は「宮本」「初舞台」「秋美人」「自然郷ほたる」「愛郷の輝き」「びゃっこの泉」「こんにちは料理酒」です。どれも美味しく酔っぱらっちゃいました。料理は「こころや」からの食材をホテルサンルート白河の方が調理して下さい、これも、とても美味しく殆ど残らなかったです。

こころんでは、里山再生プロジェクトに於いて、田植えに田の草取り、そして稲刈りを行いました。そのお米で料理酒が出来上がった事に、大きな喜びを感じました。酒造りを通じた県南地方の取組みを、皆さんに知って頂けてとても良かったと思います。

(O.S)

こころんサポーターズ ボランティア交流会について

昨年4月から障害者自立支援法が施行され、生活支援センターこころんも体制が変わりました。私たちボランティアもこれまで以上に積極的にこころんを支えて行こうと、こころんサポーターズを立ち上げてから1年が経とうとしています。

総会に続く講演会、コンサート、こころんまつり、アート展などに集中して取り組みました。初めてのことばかりなので多くの気づきや大きな喜びを得ることができた反面、反省すべきことも多々ありました。

一般的に、ボランティア活動は、ボランティアそのものに対する活動者の思いや考えにより、時間経過に伴い活動の方向性に差異を生じやすくなります。そこで、私たちは、さまざまな意見を出し合い、来年度以降のようにこころんを支えて行くかを模索すると同時に、ボランティア間の親睦を図るため以下のような計画をたてました。こころんにボランティア未登録の方も是非お気軽にご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしています。

ボランティア交流会

- ・日時 3月30日(金)午後3時から翌31日(土)朝食後まで
- ・場所 泉崎カントリービレッジ
- ・費用 交流会(30日午後3時から5時まで) 無料
懇親会(30日午後6時から9時まで) 4,000円
宿泊 6,000円
- ・申込 3月20日までに こころんまで連絡下さい。
電話 0248-54-1115
FAX 0248-53-3063
- ・その他 会費は当日いただきます。



こころんサポーターズ代表 高橋節子

みんなのひろば

アイスクャンدل2007

私は初めて参加しました。最初は慣れない販売活動をしました。印象に残ったのは、温かい甘酒やうどん、そして、たこ焼き等、美味しそうに食べる姿が見えました。ゴスペル・ライブの準備も最高潮に達していた。こころのブースも、熱を帯びてきました。アイスクャンدلも出来た。



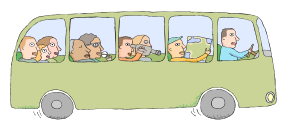
1月27日が、アウシュヴィッツ収容所の開放記念日とは知りませんでした。でも知ることが出来て、ヨーロッパでは、毎年この日に戦争犠牲者を追悼している。いよいよゴスペルの始まりだ、参加者の心に残る歌声を披露してくれた。お疲れ様、ありがとう。

(CIA) (;^H ^;)

ミステリー旅行

1月30日今回のミステリージャーニーは、黒羽温泉 & なかがわ水遊園へ行って参りました。貸切バスに乗り込み、まず水族館です。建物は湖面に浮かびガラス張りの造りで、入場していくと、最初に那河川に棲んでいる魚が見られました。興味深かったのは直接手で触れられる展示ブースがあったことです。さらに進んで行くにチューブ型トンネルがありました。南米アマゾン再現しており、普段見られない様な魚が頭上を泳いでいたのが驚かされました。また色鮮やかな珊瑚なども見られ、満喫した時を過ごし、五峰の湯へ。五峰の湯は無色透明で広々としていて、とてもリラックスできました。こうしてミステリージャーニーも帰途についたわけですが、再度お湯につかる行事をたてても“OK”だと思っております。

バス小旅行



広田和子さんのお話を聞いて

去年の11月22日、精神医療サバイバーの広田和子さんのお話を直接聞く機会がありました。広田和子さんの精神医療サバイバーという肩書きは、広田和子さん自身が精神病と闘って生きてきたことから出来た肩書きです。そして精神障がいを持った我々も広田さんと同じ精神医療サバイバーだと広田さんはおっしゃっていました。広田さんのお話はご自身の体験から得た話なので、私は心を開いて納得しつつ、お話を聞くことが出来ました。病気で薬を飲んでいる身であっても、広田さんのような強く活動することが出来るのだと思ひ、私にももっと広い活動が出来るのではないかと思ひました。広田さんのお話から生きる力を頂いたと思ひました。



あけぼの荘の矢内勇次郎さんがパネラーとして発表しました

第5回東北・北海道ブロック精神障害者就業支援セミナー

2月23日～24日福島市のウエディングエルティで行われた「第5回東北・北海道ブロック精神障害者就業支援セミナー」の2日目にスタッフ4名メンバー7名で参加しました。テーマは「どうしたら働けるんだろう?」「どうしたら雇えるんだろう?」です。6名のパネラーがそれぞれの立場から精神障がいを持った方々の就労について話して下さいました。中でも私が考えさせられたのは、障がいをオープンにして就職するか、クローズで行くかという点です。パネラーの皆さんに1人づつ聞いたところ、両方を支持される方もいらっしゃいましたが、ほぼ半々の結果に成りました。長く勤めたいならオープン、短くて良いならクローズ等、それぞれにメリットとデメリットがある様でした。私はどうするか決めないで、その時の状況で判断しようと思ひます。本当に支援があれば就職できるんだと、希望を持つ事が出来たセミナーでした。(O.S)



クリスマス交流会

平成18年12月19日に、こころでクリスマス交流会が行われました。私がこころのクリスマスに参加するのは、二回目です。この日が来るのを楽しみにしていました。「ウッドピアはなわ」「なごみの家」「こころん」のメンバーと職員、その他関係者の皆様方、70人以上が集まりました。「泉崎語り部の会」「なごみの家」「こころん」「コール泉崎」、その他盛り沢山のプログラムで、楽しい時間が流れて、あっという間に終わってしまいました。中でも、「なごみの家」の白雪姫の劇で、お姫様に男性の方が扮装して「僕と付き合ってください」と言いたいほどの美人だったです。「また来年のクリスマス交流会を楽しみに明日から色々頑張りますよ。」楽しいクリスマスでした。またこの機会を設けて下さい。どうもありがとうございました。(A~A) (M.K)

今思ふこと「家族」



やっぱり、今の私がいるのは、家族の支えがあるからだそう強く感じています。私には、お母さんやお姉ちゃんがいるのですが、お母さんやお姉ちゃんがいなかったら私は自分を見失っていたかもしれません。きっと、嫌いな自分を受け入れられず、心も身体もボロボロで、色々な事に対し臆病で、ネガティブで、心の中で不安ばかり背負って生きていくダメ人間だったと思います。私は決して100パーセント完璧ではありません。そして今まで間違えている事を「違うよ」と言って教えてくれたのが家族やまわりの人です。辛い事(高校中退)などがあって何度も落ち込んだり、挫折したり、時にはもう生きているのも何もかもが嫌になった私を救ってくれたのが家族でした。特にお母さんには心配や迷惑をかけてしまいましたが、こんな落ちこぼれの私を見捨てる事はなく、私が病気にまでなったのに、そんな私のためにお母さんも体が弱いのに、一生懸命に私の事を考えて、心の障がい者のための心が安らげる場所、つまり「こころん」を探して見つけてくれたのです。私が「こころん」や「こころや」に行けたのもお母さんのおかげなんです。母は今も入院中ですが、そのことをお姉ちゃんから聞いたときには驚きました。このとき、私は「親の心、子知らず」と言うのか、母は強いと思ひました。今では小さい事ですが、しっかりと目標を決めて「こころや」で働いている段階です。私もそうですが、皆さんにとってもこれからも、いつまでも「こころん」や「こころや」が心安らげる場所であってほしいと思ひます。お母さん、お姉ちゃん & 友達へ「いつもありがとう!」 (鈴木優子)



こころやカフェでは、直売所にならぶ新鮮な野菜・くだものをふんだんに使い、体にやさしいランチメニューでお待ちしています。また、御好評いただいております、オリジナル焼き菓子は、ひとつひとつ心をこめて手作りしております。春にむかってカフェの充実を目指して、今後も頑張ってます。



こころやカフェ

障害者自立支援法が法制化されて早いものでもうすぐ1年が経ちます。荒れ狂う(?)時代の波に乗り遅れまいと我々NPO法人こころんでは、昨年10月に就労移行支援 & 就労継続支援B型事業所として「こころや」がオープンしました。「こころん」も相談支援事業所及び地域活動支援センター 型としてリニューアルしました。

別紙パンフレットをご覧ください。

本人希望により各プログラムに自由に参加できます。皆様、是非こころんへお立ち寄りくださいませ。

(by 玄太)

こころんに来らし

新しい仲間 なごみの家 です

「なごみの家」は、白河駅北側の郭内地区にあり、平成10年10月から白河地域精神障害者家族会により、共同作業所として精神障がいの者の自立促進と社会参加のために様々な活動をしてきました。会のモットーは、支えあい 学びあい 働きかけ(人・街)です。



以前から生活支援センターこころんと行事や研修などを一緒に行っていましたが、平成18年10月からの障害者自立支援法の施行に伴い、NP 法人こころんと一体化し、障がい者福祉サービスの家「多機能型事業所(就労継続支援)と(地域活動センター)」として新たな事業展開しております。

皆さんお気軽にお立ち寄り下さい。

3人の美女(?)スタッフがお待ちしていま~す。

